

平成 29 年度 へき地・地域教育部事業報告

1 活動方針

ふるさとで心豊かに学び、新しい時代を切り拓く子どもの育成をねらいとした研究を行う。

2 事業内容

月	日	事業名	事業内容
5	8	第1回へき地部員会	活動方針の確認と事業計画の立案 (文書による確認)
	19	第1回県へき地部長会	へき地・地域教育部の方向性の確認 H28 事業報告と H29 事業計画等の承認
7	7	第2回県へき地部長会	H29 研究推進について 優良青年会員の表彰候補者内定
10	27	第2回へき地部員会 市へき地・複式教育部会	授業研究・情報交換 (真穴小 佐々木廣市教諭 教科：国語)
11	1 2	第66回全国へき地教育研究大会高知大会	
1	19	第3回県へき地部長会	H29 事業や研究推進の反省 H30 県へき地・地域教育研究大会に向けて
3	2	第3回へき地部員会	実践事例報告集の作成と配布 H29 事業や研究推進の反省

3 今年度の反省と来年度への志向

- 市教研の「へき地・複式教育部会」と2・3年生複式による国語科の研究授業(会場：真穴小)を行った。「少人数・複式学級において、どのようにして子どもたちの力を伸ばしていくのか」など、学年や子どもたちの力量を考えた上での手立てについて、部員全体で話し合いを深めることができた。また、地域教育に関する情報の共有を図るとともに、各校の実践活動を「地域教育」の視点から見直すことも確認した。
- 部会の名称が「へき地・地域教育部」と変更になった初年度の取組として、今年度から複式授業の指導案とともに各校の「地域教育」に視点を置いた実践事例報告をまとめた『実践事例報告集』を作成し、全小中学校へ配布することにした。複式学級の有無に関係なく全ての学校において、これまでの実践活動を「地域教育」の視点で見直すことができた。
- 学校と地域との連携・協働に関する動向(県下のコミュニティ・スクールや学校支援地域本部、地域学校共同本部の現状等)について理解を深めることができた。今後、地域連携・協働の在り方に関する情報交換の必要性が一層求められる。また一方で、来年度、市教研の「へき地・複式教育部会」が廃止になり、複式学級の研究授業開催が難しくなる。複式学級における学習指導法の継承をどうするかが今後の課題である。